

ICT 導入協議会（第 21 回）

議事概要

1. 開催日時：令和 7 年 6 月 27 日（金）10：00～11：30
2. 場 所：WEB 会議
3. 議 事：
 - （1）ICT 施工に関する状況報告 資料－1
 - （2）ロードマップ案について 資料－2
 - （3）ICT 施工の技術基準類拡大について 資料－3
 - （4）その他 資料－4

（ 概 要 ）○委員 、●事務局

（1）ICT 施工に関する状況報告（資料－1）

- 直轄土木工事における ICT 施工の実施状況、直轄土木工事における等級別 ICT 施工の経験割合分析、ICT 施工の活用効果について報告。
- ICT 施工導入による施工者と発注者のメリットの整理と明示
- 中小企業への ICT 普及拡大の取り組みについて報告

【直轄土木工事における等級別 ICT 施工の経験割合分析への意見】

- D クラスの ICT 施工経験割合が 20%程度であるが、普及が進まない理由等はあるのか。
- 小規模では比較的 ICT 施工の実施が難しいことが要因の一つと考えられる。実施率としては昨年比で 4%上昇しているため、着実に増加はしている。

【ICT 施工の活用効果への意見】

- ICT 施工導入による施工者と発注者のメリットを明示することはその普及のために有効。今後は、より具体的なメリットの提示が望まれる。特に、ICT 施工をより推進するために、発注者側として積極的に推進する意識が必要だと感じている。そのため、発注者が ICT 導入のメリットをより強く実感できる情報を今後も提示していただけるとありがたい。

（2）ロードマップ案について（資料－2）

【ICT 施工】

- ICT 舗装工及び ICT 地盤改良工について、原則化に向けた段階措置として、発注者指定型の拡大・導入を実施していく事を説明。

【施工データ活用（ICT 施工 StageⅡ）の取り組み事例】

- 「施工計画シミュレーション」、「ボトルネックの把握・改善」及び「データ集計作業や現地確認作業の軽減」の3つの分類ごとに活用事例とその効果について説明。

【遠隔施工】

- 砂防現場における遠隔施工技術の普及・伝承活動及び遠隔施工要領（案）について説明。
- 国道249号大川浜工区における遠隔施工の取組事例について説明。
- 遠隔施工における通信環境等について、今後、調査・整理等を行っていくことを説明。

【新たな施工技術（チルトローテータ）】

- 省人化建設機械（チルトローテータ）の認定制度及び見込まれる効果について説明。
- 令和7年度に省人化建設機械を活用した試行工事を実施し、省人化効果や活用に向けた今後の課題等を調査することを説明。

（3） ICT 施工の技術基準類拡大（資料－3）

- 技術基準類に関する令和7年度の検討項目として以下を説明
 - ・ICT法面工（植生基材吹付工）における吹付厚さへの3次元計測技術を用いた出来形管理の適用拡大検討。
 - ・Lidar SLAM 技術による出来形管理手法の検討
 - ・デジタルデータを活用した出来形管理資料作成の効率化

【Lidar SLAM 技術による出来形管理手法の検討への意見】

- 基準類の整備はいつぐらいの時期を目標としているのか。
- 年度内を目指しているが、計測技術や解析手法が多数存在するため、検証を重ね反映させる必要があり、時間がかかる可能性もある。

（4） その他（資料－4）

- 事務局による話題提供として以下の項目について報告
 - ・建設現場のカーボンニュートラル
 - ・河川堤防の維持管理について維持管理段階での BIM/CIM の活用
 - ・ICT 施工において活用可能な製品が登録されている中小企業省力化投資補助金対象製品（中企庁所管）
- （一社）日本建設機械施工協会による話題提供として、「i-Construction に関する JCMA の取り組み」について報告